

2023年度

科目名称	教育実習（中・高）
授業コード	BN411
英語名称	
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	寝占 真翔（共通・教職資格系科目・卒業生発行区分）
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	(A)社会的基礎能力 (B)自己実現能力 教育職員免許法に定められた教職に関する専門科目の一つであり、教育実習を通して、学校教育の実態を総合的に理解する。 大学で学修した教科・教職に関する理論や知識・技能と実習校での教育活動（教育実践）とを相互に関係させて学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	私立学校教員としての実務経験を生かし、学校における教科指導と児童・生徒指導の実際を踏まえて指導、助言していく。
到達目標	【教職専門科目に関する知識・技能に関する到達目標】 確かな教材研究と生徒理解を踏まえた上で、教科の単元指導計画を立案し、学習指導案を作成して、授業実践ができる。 観察を踏まえた生徒理解のもとで、学級経営、生徒指導にあたり、自分の指導観を深めてゆくことができる。 【汎用能力としての学士力についての到達目標】 指導計画の立案（P）・実践（D）・振り返り（省察）（C）・修正実践（A）のサイクルの必要性を理解し、実践できるようになる。
計画・内容	<3年次> 実習に関するガイダンス 実習申し込み、実習先確保 都教委及び実習校からの内定 事前指導（13回） ・実習の心構え ・書類の作成 ・学習指導案作成と模擬授業 ・各種講話 <4年次> 実習校オリエンテーション 4週間の実習 ・観察実習 ・教材研究、授業実習 ・研究授業、研究協議 ・実習日誌への記録 ・大学教員による巡回指導 事後指導（2回） ・振り返りとレポートの作成 ・教育実習報告会
授業の進め方	・実習中の観察、授業実践、研究授業 ・大学教員巡回指導

2023年度

能動的な学びの実施	・実習中の観察、授業実践、研究授業
授業時間外の学修	時間外の学習として、授業実習の準備、教育実習日誌への記録などを行う。
教科書・参考書	・帝京科学大学「教育実習の手引き」 ・特になし
成績評価方法と基準	実習校からの成績 80% 実習日誌 10% 実習レポート及び実習報告会 10% ～ を総合して評価する
課題等に対するフィードバック	教育実習における実習校からの評価について、フィードバックを行う。
オフィスアワー	Campus squareを参照。
留意事項	・教育職員免許法に定められた教職に関する科目、中学校および高等学校の教員免許状を取得するための必修科目である。 ・実習の前年度末までに教育実習参加要件を満たしていること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 ・授業動画配信によるオンデマンド授業または課題学修とする。 成績評価方法 ・授業中課題50%と期末レポート50%で評価する。